

令和5年度 中央小学校評価書

学校 教育 目標	本校の教育の基盤	大津市の 6つの キーワード	中 項 目	小 項 目	自 己 評 価			委 員 評 価		
					小項目 評定	中項目 評定	現 況	ご意見		
「豊かな心で考えてやりぬく子の育成」	<p>美観あふれる学校！ 中央小 「豊かな心で考えてやりぬく子」</p> <p>○中央小3つの約束 しっかり「あいさつ」 しっかり「そらじ」 しっかり「聴く」</p> <p>役に立つ喜びを知る子</p> <p>○基礎・基本の習得 ○個に応じた指導・協同的な学びの推進 ○自他の生命・人権の尊重 ○公共心・公德心・道徳教育の推進 ○学校と家庭を結んだ自ら学ぶ習慣の形成 ○体験活動の充実 ＜感性を磨く・仲間をつくる＞ ○安全・安心できる学校づくり ○危機予防・回避能力を高める安全教育の推進 ○魅力ある授業・体力づくりの推進 ○健康な心身を育む食育の推進</p>	<p>1. 学ぶ力の向上 (主眼的、対話的で深い学び)</p> <p>2. 道徳教育の充実</p> <p>3. 体力づくり</p> <p>4. 指導改善 (組織的・計画的)</p> <p>5. 育ちと学びを支える連携</p> <p>6. 組織的体制の充実</p> <p>①生徒指導体制の充実</p> <p>②特別支援教育の充実</p>	学び合い(主眼的、対話的で深い学び)	支持的風土を育てる学級・学年集団づくりの実践に努めているか	学年・学級経営	2.6	2.5	<p>・落ち着いた雰囲気や学習したり、安心できる仲間づくりができるように日々取り組んでいる。</p> <p>・校内研究では、主体的に学習に取り組む等、学ぶ力の育成に重点を置いて授業づくりに関わり、少しずつ課題を自分のこととして捉えて学習できる子が増えてきた。また、学びの協同性を高めるための学習活動のあり方を研究・実践する中で子どもたちの学び合おうとする意欲が高まってきた。</p> <p>・授業の中でICTを進んで活用し、学習活動の幅が広がった。</p>	3	<p>落ち着いた雰囲気や授業に取り組めており良いと感じる。子どもたちの自主的、活発な意見交流が促されている。校内研究による教員の資質向上にも力を入れていると感じた。幸せを実感できる学び、心をゆさぶるような授業づくりを研究実践し、学ぶことを喜び児童が一層増えるよう願う。ICT活用と並行しコミュニケーション能力の育成を引き続きお願いする。</p>
				協同する体験・伝え合う喜び・コミュニケーション能力の育成を図る授業の工夫改善に努めているか(ICTの活用を含む)	授業の工夫改善 校内研究	2.3				
				学び合いを追究する授業研究や研修会に取り組んでいるか	協同的な学びの形成	2.7				
			道徳教育の充実	<p>生命を尊重する心や人権の尊重などの道徳的実践力を育てる活動の実施に努めているか</p> <p>道徳の授業に関する内容や人権教育についての学習を参観してもらったり、通信等で保護者に伝えたりしているか。</p> <p>道徳の授業に関わる内容や人権教育についての学習を参観してもらったり、通信等で保護者に伝えたりしているか。</p>	道徳の指導	2.1	1.9	<p>・学習参観で保護者への道徳の授業公開を実施した。</p> <p>・いじめ防止月間の取り組みでの授業実践、障害者理解教育でひまわり学級の出前授業等、人権教育の充実にも努めた。</p> <p>・道徳授業の校内における研修体制、障害者理解教育のさらなる充実を図っていく必要がある。</p>	2.7	<p>道徳教育は大切であり、授業公開は良かったと思う。いじめ防止につなげてもらいたい。道徳教育はカリキュラム化が難しいと思うが、その中で充実に向けた取組がなされている。道徳の大切さを再認識している。授業だけでなく日頃からの道徳教育が重要である。</p>
						2.2				
						2.3				
			心身とも健やかな身体づくり	<p>たくましい心と体を育てる魅力ある授業の工夫改善に努めているか</p> <p>食育・保健指導を含め、体力作りを推進する活動実施に努めているか</p> <p>体を動かす気持ちよさを体感させ、進んで体を動かそうとする意欲の育成に努めているか</p>	<p>体育学習 保健指導 食育</p>	2.1	2.1	<p>・昨年度より拡大した運動会を開催することができた。その中で、体を動かすよさ、集団で1つのものを創りあげるよさを感じることができた。</p> <p>・天気の良い日は、外で体を動かして遊ぶ児童が多い。</p> <p>・給食時の放送等、食育に関わる情報の発信を子どもたちが担い努力している。</p>	2.9	<p>運動会では、大変熱心に、すばらしい集団行動でそれぞれの力を発揮していた。運動会では、子どもたちのいきいきとした姿が印象的であった。運動会では、上級生と下級生の仲の良さが見られた。生涯運動を楽しむ子どもを増やしていってほしい。外で遊ぶ習慣があることは良い。</p>
						2.0				
						2.2				
			指導改善(組織的・計画的)	<p>学力の向上を目指した指導体制・指導方法の工夫改善に努めているか</p> <p>教職員の指導力育成に立った組織的な学校組織の運営・改善が行えているか</p> <p>ICT活用による校務の効率化と教育活動の質の改善が図れているか</p>	<p>指導改善</p> <p>重点部会</p> <p>情報教育</p>	2.5	2.3	<p>・校内研究会やOJT研修では、児童の学ぶ力向上に校内全体で取り組んでいる。</p> <p>・職員会議の前に重点部会を開き、職員会議に提案する内容を吟味した。</p> <p>・学習の中でのICTを活用が増えている。低学年もiPadでの調べ学習や自主学習、ドリル学習などに活用、児童の意欲的な取り組みにもつながっている。</p>	2.9	<p>ICTの活用で子どもらの学習形態に進化が見られた。OJTの充実等、学校全体で取り組まれているのは素晴らしい。働き方改革が求められる中、研修時間の確保や授業改善に努めて欲しい。ICTの有効活用について今後も工夫していくことが大切。意見発表のツールとしても一層充実できるとよい。</p>
						2.2				
						2.3				
			家庭・地域との連携	<p>保護者の子育てに対する積極的な支援を行っているか</p> <p>学校での子どもたちの様子や、保護者や地域の方に広わるように通信やホームページの充実、個別の連絡等に努めているか。</p> <p>防災教育の推進と安心・安全な学校づくりに努めているか</p>	<p>保護者対応</p> <p>安心・安全な学校</p>	2.3	2.3	<p>・子どもたちに心配な様子が見られたときには、校内で連携した上、保護者とこまめに連絡を取り合うよう努めている。</p> <p>・ホームページに、毎日の学校の様子を掲載した。</p> <p>・避難経路の確認、初動訓練、休み時間での避難訓練等を実施し、防災の啓発、安全教育を実施した。</p>	3	<p>繰り返し、啓発と教育に努めてもらいたい。家庭への連絡はきめ細やかで即時性があると感じる。家庭や地域の教育力とともに地域の中の学校として、学校を中心とした地域づくりに努めておりありがたい。自然災害が多発している中、防災教育に今まで以上に取り組んでもらいたい。HPでしっかり情報発信され、学校の様子がよく分かりとても良いことである。</p>
						2.4				
						2.3				
保幼小中の連携	<p>子どもの校種間交流や教員の出前授業を行っているか</p> <p>校種間の合同研修会等に参加しているか</p> <p>校種間の授業公開、カリキュラム研究に努めているか</p>	<p>保幼・小・中連携 専任 体験活動</p>	1.9	1.9	<p>・5・5交流や秋のおもちやまつりなどの交流の機会をもった。</p> <p>・打出中教員の出前授業や参観、大津幼稚園との研修会、出前授業などを実施。滑らかな接続を目指し、互いの教育を知る機会とした。</p> <p>・打出ブロックの研修会への代表者参加。</p>	2.6	<p>幼小交流については、やり方の工夫を話し合うことが必要。幼稚園との交流に努め、小1プロブレムの回避に役立っていると思う。日々の交流の実施は難しいが、ブロックで大切にすべき柱を決めていく必要がある。交流学年に限られているためか自己評価ポイントは低めだが、学校・園の全体として見ればよく交流できている。</p>			
			1.9							
			1.9							
生徒指導体制の充実	<p>問題行動の早期発見、日常的な予防指導に努めているか</p> <p>生徒指導・教育相談体制の確立と組織的な推進をしているか</p> <p>いじめは決して許されないと毅然とした態度で接し、丁寧な対応に努めているか</p>	<p>生徒指導 教育相談 いじめ対策対応</p>	2.8	2.6	<p>・あいうえおアンケートを活かした生徒指導・いじめ対応・教育相談を行った。</p> <p>・事業発生時にいじめ対策委員会で対応を考え、複数、即時対応を行った。</p> <p>・全職員が些細なことでも報告・連絡・相談に努めた。</p> <p>・週に1回いじめ対策会議を開催し、全職員で学級の問題の共通理解を図った。</p>	3	<p>いじめについては常に心配りと事前指導、事後対応をしっかりとお願いする。登校に不安のある子どもへの対応を熱心にされており良い。いじめ対策がよく子どもにも浸透しており、アンケートの「いじめはダメ命は大切」であるとの多く回答からもそれがわかる。対応は非常に速やかかつ組織的であると思う。家庭力の向上も重要である。</p>			
			2.5							
			2.5							
特別支援教育の充実	<p>個別指導計画の作成と活用を進めているか</p> <p>組織的・計画的な特別支援教育体制を確立しているか</p> <p>関係機関と連携した相談体制の充実が図れているか</p>	<p>特別支援教育</p>	2.4	2.3	<p>・特別支援学級の担任が、通常学級で特別支援教育を実施した。</p> <p>・校内の特別支援教育委員会で組織的な関わり、外部機関との連携のあり方を検討し進めている。個別の指導計画は保護者と相談しながら作成、日々の実践に活かすことができた。</p> <p>・子ども発達センターやスクールカウンセラー、各種療育機関とも連携し、支援体制を整え、相談することができた。</p>	3	<p>特別支援学級の充実が素晴らしいと思う。教員の学びが生かされていけることを望む。必要などきに必要支援をするためにも人材が必要である。一人ひとりに寄り添った支援教育を引き続き図っていただきたい。</p>			
			2.1							
			2.4							
児童の学校満足度					2.4		<p>学校アンケートで、89%以上の児童が「学校が楽しい」と回答。</p>	3	<p>校長先生をはじめ先生方のご尽力に感謝する。</p>	